

# 目次

5FU+CDGP .....	1
5FU+CDDP+Pembrolizumab .....	2
Atezolizumab+Bev .....	3
ベバシズマブ+FOLFIRI .....	4
ベバシズマブ+IRIS .....	5
ベバシズマブ+mFOLFOX6 .....	6
ベバシズマブ+S-1 .....	7
ベバシズマブ+ s LV5FU2 .....	8
ベバシズマブ+UFT+LV .....	9
ベバシズマブ+XELIRI .....	10
ベバシズマブ+XELOX .....	11
ベバシズマブ+トリフルリジン .....	12
biweeklyアービタックス+FOLFIRI .....	13
biweeklyアービタックス+mFOLFOX6 .....	14
2外 Biweekly CPT-11+CDDP .....	15
CDDP+5FU .....	16
アービタックス+mFOLFOX6 .....	17
2外 CPT-11+CDDP .....	18
2外 CPT-11+TS-1併用療法 .....	19
DCF .....	20
DCS (進行・再発) .....	21
2外 DOC+CDGP .....	22

DTX+CDGP併用療法	23
Durvalumab維持療法	24
Durvalumab単剤	25
Durvalumab+GC	26
FOLFIRI	27
FOLFIRI+aflibercept	28
FOLFIRINOX療法	29
2外 FP(肝動注)	30
GCS	31
GEM+タルセバ	32
GEM3投1休+TS-1(隔日)	33
IRIS	34
Low dose FP(CRT)	35
low-dose FP	36
nab-PTX+GEM(放射線併用)	37
modified FOLFIRINOX療法	38
m FOLFOX6	39
modified FOLFOX(膝癌)	40
nal-IRI+FU/LV	41
Nivo+mFOLFOX6	42
Nivolumab+SOX(L-OHP:100mg/m <sup>2</sup> )	43
Nivolumab+SOX(L-OHP:130mg/m <sup>2</sup> )	44
Nivolumab+XELOX(L-OHP:100mg/m <sup>2</sup> )	45
Nivolumab+XELOX(L-OHP:130mg/m <sup>2</sup> )	46

Nivolumab(240mg)+5FU+CDDP .....	47
Nivolumab(480mg)+5FU+CDDP .....	48
ベクティビックス+FOLFIRI .....	49
ベクティビックス+mFOLFOX6 .....	50
ペルツズマブ・トラスツマブ配合皮下注 .....	51
Pembrolizumab+GC .....	52
Pembrolizumab+GEM (維持療法) .....	53
Pembrolizumab+SOX (L-OHP : 100m g /m <sup>2</sup> ) .....	54
Pembrolizumab+SOX (L-OHP : 130m g /m <sup>2</sup> ) .....	55
Pembrolizumab+XELOX (L-OHP : 100m g /m <sup>2</sup> ) .....	56
Pembrolizumab+XELOX (L-OHP : 130m g /m <sup>2</sup> ) .....	57
RAM+nab-PTX .....	58
S1+CDDP(short hydration) .....	59
S-1+ドセタキセル療法 (術後補助化学療法) .....	61
S1+CDDP .....	62
S-IROX .....	62
s LV5FU2 .....	64
2外 SLOG .....	64
SOX .....	65
ベバシズマブ+SOX .....	66
SOX100+トラスツズマブ .....	67
SOX130+トラスツズマブ .....	68
ストレプトゾシン+ 5FU .....	69
トラスツズマブ デルクステカン .....	70

triweekly アブラキサン	71
triweekly DTX	72
triweekly アブラキサン	73
トレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法	74
2外 TS-1+ドセタキセル療法	75
weekly アブラキサン	76
Weekly CPT-11	77
weeklyパクリタキセル療法	78
Xeloda+CDDP	79
XELOX	80
XELOX	81
XELOX+Trastuumab	82
XELIRI	83
XP(Xeloda+CDDP)+ハーセプチン	84
アービタックス	85
アービタックス+FOLFIRI	86
アービタックス+biweekly CPT-11	87
アービタックス+CPT-11	88
2外 アイソボリン/5-FU 動注併用	89
2外 アイソボリン/5-FU	90
2外 アイソボリン/5-FU/CPT-11 動注併用	91
2外 アイソボリン/5-FU/CPT-11	92
アブラキサン+ゲムシタビン療法	93
ザノサー	94

GEM2投1休+TS-1併用療法 .....	95
2外 ジェムザール3投1休 .....	96
ゾルベツキシマブ+CAPOX .....	97
ゾルベツキシマブ+mFOLFOX6 .....	98
ニボルマブ .....	99
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法 .....	100
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法 .....	101
ベクティビックス+CPT-11 .....	102
ベクティビックス単剤 .....	103
ベバシズマブ+mFOLFOX6 .....	104
ラムシルマブ+FOLFIRI .....	105
ラムシルマブ+イリノテカン併用療法 .....	106
ラムシルマブ+パクリタキセル療法 .....	107
ラムシルマブ+ロンサーフ併用療法 .....	108
ラムシルマブ療法 .....	109

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5FU+CDGP	食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロン3mg デカドロン注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day 1
①、	グラニセトロン3mg デカドロン注	1袋 3.3mg	点滴	30分	day 2, 3
①、	グラニセトロン3mg	1袋	点滴	30分	day 4, 5
②	5FU 生理食塩液	800mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	24時間	day 1~5
③	アクプラ 生理食塩液	90mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	90分	day 1
1コースの期間  28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		
その他(特記事項など) ・水分負荷が困難な症例など、標準の5FU+CDGPが使用できない症例に対して用いる。 ・患者の心機能に応じて、可能な範囲でHydrationを行う。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
5FU+CDDP+Pembrolizumab	食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩液100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液500mL	10mL 1袋	点滴	2時間	day1
⑤	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1袋 1瓶 2A	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液100mL デキサート注6.6mg	1瓶 1瓶	点滴	30分	day2-3
⑦	フロセミド注20mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	全開	フラッシュ	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液500mL	80mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	4時間	day1
⑨	5-FU 生理食塩液500mL	800mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	24時間	day1-5
⑩	生理食塩液500mL	1袋×2	点滴	4時間	day1
⑪	ポタコールR500mL	1袋×2	点滴	6時間	day1 (翌朝まで2本)
⑫	ポタコールR500mL	1袋	点滴	2時間	day2-3

1コースの期間  21日	投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続
--------------------	-------------------------------

その他(特記事項など)

- ・インラインフィルター使用 ・イメンドカプセル使用
- ・CDDPは投与開始前日から翌日にかけてハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎・肝・心機能に応じ、投与量などを変更する
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節する
- ・CDDPの投与回数は6回を目途とする

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Atezolizumab+Bev	切除不能 肝細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	テセントリク 生理食塩液	1200mg/body 250mL	点滴	30-60分	day1
②	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
③	アバスチン 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴	30-90分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間  21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		
その他(特記事項など) ・投与にはPVCフリーの0.2μmのインラインフィルター付き輸液セットを使用する。 ・テセントリクは、生食バッグから生食20mLを抜き取った後に混注し、全量が250mLになるように調製する。投与時間は初回60(±15)分、問題なければ2回目30(±10)分で点滴可能。 ・アバスチンは全量100mLとなるよう調製する。投与時間は初回90(±15)分、問題なければ2回目60(±10)分、3回目以降30(±10)分で点滴可能。					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+FOLFIRI	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	アイソボリン 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
④	トポテシン注 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	③の側管 から点滴	③と同時に開 始し90分で	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1~3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など)  ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+IRIS	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg デカドロン6.6mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day 1, 15
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目以降 30分	day 1, 15
③	カンプト 生理食塩液	100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1, 15
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1, 15
⑤	TS-1	80-120mg/body	内服	1日2回	day 1~15
⑥					
1コースの期間  28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1コースとして PDまで		
その他（特記事項など） ・TS-1はday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後14日間休薬 ・TS-1の投与量の標準は、 体表面積 1.25未満：80mg/day、1.25以上1.5未満：100mg/day、1.5以上120mg/day					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+mFOLFOX6	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ0.75mg	1V 1本	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
④	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	③の側管から点滴	③と同時に開始し120分で	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内（全開）	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフューザーポンプ	46時間	day1~3
1コースの期間  14日間（2週間）			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他（特記事項など）  ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + S-1	結腸癌、直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルートキープ	day 1, 15, 29
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30～90分	day 1, 15, 29
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1, 15, 29
④	TS-1	80-120mg/body	内服	1日2回 朝夕食後	day1-28
1コースの期間  42日間(6週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		

## その他(特記事項など)

・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分で投与する。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。  
 ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day28朝食後まで服用後14日間休薬とする。体表面積が1.25未満の場合は80mg/day、1.25以上1.5未満の場合は100mg/日、1.5以上の場合は120mg/日とする。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+sLV5FU2	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシン0.75mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	アイソボリン 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
④	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間(2週間)			PDまで継続		

その他(特記事項など)

- ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分に。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。
- ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + UFT + LV	結腸癌、直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルートキープ	day 1, 15
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30～90分	day 1, 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1, 15
④	UFT	300mg/m <sup>2</sup>	内服	1日3回食間	day1-21
⑤	ホリナート錠	75mg	内服	1日3回食間 (UFTと同時)	day1-21
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		

## その他(特記事項など)

- ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分で投与する。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。
- ・UFT、ホリナートについては、1日3回(約8時間ごとに)、食事の影響をうけるため食事の前後1時間を避けて経口投与する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
bev+XELIRI	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mgバッグ デキサート6.6mg	1バッグ 1V	点滴	30分	day 1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	7.5mg/kg 合計100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目以降 30分	day 1
③	カンプト点滴静注 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1
⑤	ゼローダ	1600mg/m <sup>2</sup> /day	内服		day 1～15
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			PDまで		
その他(特記事項など) ・ゼローダはday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後7日間休薬 ・ゼローダの標準投与量は体表面積に合わせて次に基づき投与する。 1,31m <sup>2</sup> 未満:1800mg/日 1,31以上1,69m <sup>2</sup> 未満:2400mg/日 1,69以上2,07m <sup>2</sup> 未満:3000mg/日 2,07m <sup>2</sup> 以上:3600mg/日 ・UGT1A1の遺伝子多型を測定し、ホモ又はダブルヘテロの場合はカンプトの投与量を150mg/m <sup>2</sup> に減量する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+XELOX	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 50mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	7.5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			アバスチン・エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他(特記事項など) ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分に。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。 ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg 1.96以上：2,100mg					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ + トリフルリジン	結腸癌、直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液	50mL	点滴	ルートキープ	day 1, 15
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	30~90分	day 1, 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1, 15
④	トリフルリジン	35mg/m <sup>2</sup> /回	内服	1日2回 朝夕食後	day1-5、day8-12
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		

## その他(特記事項など)

・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分で投与する。60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。

・トリフルリジンについて、前コース中に、減量基準に該当する有害事象が発現した場合には、投与再開時において、コース単位で1日単位量として10mg/日単位で減量することとする。最低投与量は、30mg/日までとする。トリフルリジンを50mg/日を投与する場合は、朝食後に20mg、夕食後に30mgを投与することとする。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
biweeklyアービタックス+FOLFIRI	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50ml	点滴	全開	day1
②	アロキシ注 生理食塩液50mL	1V	点滴	30分	day1
③	アービタックス注 生理食塩液	500mg/m <sup>2</sup> Total 500mL	点滴	120分	day1
④	レボホリナート 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
側	トポテシン 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	⑤の側管 から	⑤と同時に 開始し90分 で	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	全開	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1
1 コースの期間  14日間 (2週間)			投与スケジュール及び総コース数  アービタックスとFOLFIRIは隔週投与 2週間を1コースとして、PDまで継続		
その他 (特記事項など) ・アービタックス投与時のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
biweeklyアービタックス+mFOLFOX6	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50ml	点滴	全開	day1
②	アービタックス注 生理食塩液	500mg/m <sup>2</sup> Total 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	100ml	点滴	30分	day1
④	アロキシ注 生理食塩液50mL	1V	点滴	全開	day1
⑤	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
側	エルプラット 5%ブドウ糖液	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	⑥の側管 から	⑥と同時に 開始し120分 で	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	全開	day1
⑦	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1
1 コースの期間  14日間 (2週間)			投与スケジュール及び総コース数  アービタックスとFOLFOXは隔週投与 2週間を1コースとして、PDまで継続		
その他 (特記事項など) ・アービタックス投与時のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行う。 ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 Biweekly CPT-11+CDDP	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
	デキサート1.65mg アロキシバッグ	3A 1本			
②	5%ブドウ糖液 カンプト注	500ml 40-60mg/m <sup>2</sup>	点滴	90分	day1,15
③	生理食塩液 シスプラチン注	500ml 20-30mg/m <sup>2</sup>	点滴	90分	day1,15
④	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day1,15
⑤					
1コースの期間  1コース4週(28日)			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1コースとして繰り返す PDまで継続		

・腎障害軽減のため、飲水指導を行うこと。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
CDDP+5FU	食道癌 胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1
①'	デカドロン注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day2~3
②	ラシックス20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1
③	ランダ注 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴 (側管2)	4時間	day1
④	5-FU ポタコールR注	800mg/m <sup>2</sup> 500mL	持続点滴 (側管1)	24時間	day1~5
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  1週(5日間)投与2週休薬を1コースとして 2コース実施		

### その他(特記事項など)

- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mL程度のハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ランダは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、totalとして500mLとする。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。
- ・胃癌に対しては、TS-1(標準治療)が内服できないなどの場合にのみ使用する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス+mFOLFOX6	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約5分)	day 1,8
②	アロキシ注 生理食塩液100mL	1V	点滴	30分	day 1
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 8
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m <sup>2</sup> (初回は400mg/m <sup>2</sup> ) total 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は120分)	day 1,8
④	生理食塩液	100mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 8
⑤	経過観察			1時間	day 1,8
⑥	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day 1
側	エルプラット 5%ブドウ糖	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	⑥の側管から	⑥と同時に開始し120分で	day 1
⑦	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	全開で	day 1
⑧	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフューザーポンプ	46時間	day 1
1コースの期間  14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数 アービタックスは毎週投与 FOLFOXはbiweeklyで投与 を1コースとしてPDまで継続		

**その他(特記事項など)**

- ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。
- ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後経過観察とする。なお、day8はフラッシュ終了後は抜針し、経過観察とする。
- ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 CPT-11+CDDP	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1, 15
②	カンプト 5%ブドウ糖液	70mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1, 15
③	シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	点滴		day 1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  4(～6)週間			投与スケジュール及び総コース数  4(～6)週間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		

その他(特記事項など) ・CDDPを含む day 1は入院で ・ハイドレーションを行う
---

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 CPT-11+TS-1併用療法	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,15
②	カンプト 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1,15
③	TS-1	80-120mg	経口	/	day 1-21
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
35日間(5週間)			5週間を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

患者によって必要時、以下の処置を行う。

・グラニセロンバッグをpostメディケーションとして追加投与する場合あり。



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DCF	食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1、8
②	ガスター注 ポララミン注 5%ブドウ糖	1A 1A 100mL	点滴 (側管2)	30分	day1、8
③	5-FU 生理食塩液	600mg/m <sup>2</sup> 500mL	持続点滴 (側管1)	24時間	day1～5
④	ドセタキセル注 5%ブドウ糖	35mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴 (側管2)	2時間	day1、8
⑤	ランダ注 生理食塩液	12mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴 (側管2)	4時間	day1～5
⑥					
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  4週(28日)を1コースとして繰り返す PDまで施行		
その他(特記事項など) ・ランダ投与開始前日よりday10までの間、1日1500mL程度のハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。 ・5FUは本体の側管1から、それ以外の薬剤は側管2から投与する。 ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DCS(進行・再発)	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
②	アロキシバグ デキサート	50mL 9.9mg	点滴 (側管)	30分	day1
①	デキサート 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴 (側管)	30分	day2~3
②	ガスター注 ポララミン注 5%ブドウ糖	1A 1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
③	ドセタキセル 生理食塩液	40mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴 (側管)	2時間	day1
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
③	シスプラチン 生理食塩液	60mg/m <sup>2</sup> 合計500mL	点滴 (側管)	2時間	day1
/	TS-1	80mg/m <sup>2</sup>	経口	/	day1~14
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  TS-1はday1の夕からday15朝まで 連続服用後14日間休薬を1コース PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

- ・TS-1は以下の投与量(1回量)を1日2回朝夕食後に内服する。  
 体表面積 1.25未満:40mg、1.25以上1.50未満:50mg、1.5以上:60mg
- ・シスプラチン投与開始前日~投与翌日にかけて、5~6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。
- ・イメンドを併用する

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 DOC+CDGP	食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1A 1A 50mL	点滴	全開で	day1、15
②	アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1、15
③	ドセタキセル注 生理食塩液	30mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1、15
④	アクプラ注 生理食塩液	40mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	60分	day1、15
⑤	ソリタT3	500mL	点滴	60分	day1、15
1コースの期間  28日（4週間）			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		

その他（特記事項など）

・腎障害軽減のため、飲水指導を行うこと。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
DTX+CDGP併用療法	進行食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ デカドロン8mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル 生理食塩液	45mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1
③	アクプラ 生理食塩液	60mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  14日間(2週)			投与スケジュール及び総コース数  1投1休(隔週)で繰り返す。 可能な限り継続		

その他(特記事項など)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab維持療法	胆道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		
その他(特記事項など) ・体重が30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kgで計算する ・デュルバルマブはインラインフィルターを使用して投与する					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab単剤	肝細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日			PDまで		
その他(特記事項など) ・体重が30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kgで計算する ・デュルバルマブはインラインフィルターを使用して投与する					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Durvalumab+GC	胆道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	デュルバルマブ 生理食塩液100mL	1500mg/body 1瓶	点滴	60分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロンバッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	全開	day1,8
⑤	生理食塩液250mL	1袋	点滴	60分	day1,8
⑥	シスプラチン 生理食塩液500mL	25mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	60分	day1,8
⑦	ゲムシタビン 生理食塩液250mL	1000mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	30分	day1,8
⑧	生理食塩液250mL	1袋	点滴	30分	day1,8
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日			*PDまで		
その他(特記事項など) ・必要時、day2,3にDEX 8mg内服 ・体重が30kg以下の場合、デュルバルマブは20mg/kgで計算する ・デュルバルマブはインラインフィルターを使用して投与する ・最大8コースが終了後、デュルバルマブ単剤に以降する ※TOPAZ-1治験では最大8コースの化学療法併用となっていたが、実臨床では副作用がない限り、PD判断まで併用する					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
FOLFIRI	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
②	レボホリナート 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
③	トポテシン注 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	②の側管 から点滴	②と同時に開 始し90分で	day1
④	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内 (全開で)	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1~3
⑥					
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など)  ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
FOLFIRI+aflibercept	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注 アロキシバッグ	6.6mg 0.75mg	点滴	30分	day1
②	ザルトラップ 生理食塩液	4mg/kg 250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50mL	250ml/h		day1
④	レボホリナート 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
⑤	カンプト注 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	④の側管 から点滴	④と同時に 開始し90分で	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑦	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 92mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1~3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
FOLFIRINOX療法	膵癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注 アロキシ点滴静注バック	9.9mg 50mL	点滴	30分	day 1
②	エルプラット点滴静注液 5%ブドウ糖	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day 1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day 1
側	トポテシン点滴静注 生理食塩液	180mg/m <sup>2</sup> 250mL	③の側管から点滴	③と同時に開始し90分	day 1
④	5-FU注 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内(全開で)	day 1
⑤	5-FU注 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 92mL	インフューザーポンプ	46時間	day 1~3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) ・インフューザーポンプは2mL/hで投与する。 ・day 1の③投与60分~90分前にイメンドカプセル125mgを経口投与する。 ・day 2~3の午前中にイメンドカプセル80mg(1日1回)及びデカドロン4mg(1日1回)を経口投与する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 FP(肝動注)	胃癌又は食道癌 原発切除不能転 移性肝癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1. 15
②	生理食塩液 (末梢ルートキープ用)	100mL	点滴	40mL/h (残液廃棄)	day1. 15
動注 ①	5-FU	150~350mg/m <sup>2</sup>	動注	カイトリル終了後 ワンショット	day1. 15
動注 ②	シスプラチン 生理食塩液	3~7mg/m <sup>2</sup> total 50mLに	持続動注	15分	day1. 15
動注 ③	ヘパリンNaロックシリンジ	1本	動注	ヘパリンフラッシュ	day1. 15
⑥					
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1コースとして繰り返す。 PDまで		

その他(特記事項など)

- ・シスプラチンの動注は5FUのワンショット動注終了次第開始する。
- ・グラニセトロンは患者の状態から必要性を考慮し、省略や内服への変更など行う場合有り。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GCS	胆道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1V 1V	点滴	5分	Day1
②	生理食塩水	500mL	点滴	60分	Day1
③	ジェムザール 生理食塩水	1000mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	30分	Day1
④	シスプラチン 生理食塩水	25mg/m <sup>2</sup> total 500mL	点滴	60分	Day1
⑤	生理食塩水	250mL	点滴	30分	Day1
	ティーエスワン	80mg/m <sup>2</sup>	経口	分2	Day1-7
1コースの期間  14日間			投与スケジュール及び総コース数  6か月（スキップが無ければ計12コース）、もしくは中止基準に該当するまで		
その他（特記事項など） ・ TS-1はday1の夕食後より体表面積に応じ以下の量で開始する 1. 25未満：80mg/day、1.25以上1.5未満：100mg/day、1.5以上：120mg/day ・ C <sub>Cr</sub> が60mi/min未満の場合はTS1を1段階減量して60mg/m <sup>2</sup> で投与 1. 25未満：60mg/day、1.25以上1.5未満：80mg/day、1.5以上：100mg/day					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM+タルセバ	膵臓癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバグ デキサート	50mL 3.3mg	点滴	30分	day1. 8. 15
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day1. 8. 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1. 8. 15
④	タルセバ	100mg/body	内服		day1~28
⑤					
1コースの期間  28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  GEM: 3投1休、タルセバは連日内服 28日1コースとして PDまで		
その他(特記事項など) ・1st Lineでの治療に限る。 ・間質性肺炎に注意し、タルセバの適正使用ガイドに基づき、適切な観察を行うこと。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM3投1休+TS-1 (隔日)	膵臓癌	<input type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバグ デキサート	50mL 3.3mg	点滴	30分	day1. 8. 15
②	ジェムザール注 生理食塩液	600~1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day1. 8. 15
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1. 8. 15
④	TS-1	80mg/m <sup>2</sup>	内服		下記参照
⑤					
1 コースの期間  28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  2コース ただし、TS-1の内服は7週間で終了		
その他(特記事項など) ・ジェムザールの投与量は本臨床試験実施計画に基づき、600mg→800mg→1000mg/m <sup>2</sup> とドーズエスカレーションを行う。 ・TS-1は下記の量を朝夕食後1日2回に分割し、隔日投与(月・水・金・日)を7週間行う。 体表面積 1.25未満 : 80mg、1.25以上1.5未満 : 100mg、1.5以上 : 120mg ・その他治療スケジュールや投与量については、臨床試験のプロトコールに基づいて実施する。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
I R I S	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg デカドロン6.6mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day 1、15
②	トポテシン 生理食塩液	125mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1、15
③	TS-1	80~120mg /body/day	内服	1日2回	day 1~15
④					
⑤					
1コースの期間  28日間（4週間）			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他（特記事項など） ・TS-1はday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後14日間休薬 ・TS-1の投与量の標準は、 体表面積 1.25未満：80mg/day、1.25以上1.5未満：100mg/day、1.5以上120mg/day					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Low dose FP (CRT)	食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day 1
②	5-FU ポタコールR	350mg/m <sup>2</sup> 500mL	持続点滴	24時間	day 1～5
③	ランダ 生理食塩液	7mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	4時間	day 1～5
④					
⑤					
1コースの期間  7日間			投与スケジュール及び総コース数  4コース(4週間)連続で投与		
その他(特記事項など) ・ハイドレーションのため、3号輸液などを1日1500mL投与する。 ・FP投与に合わせて、radiation(40～70Gy)をシンクロナイズする。					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
low-dose FP	肝細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ナゼア注0.3mg 生理食塩液	1A 20mL	静注	ワンショット	day1～5
②	ランダ 生理食塩液	10mg/body 100mL	動注	60分	day1～5
③	5-FU 生理食塩液	250mg/body 500mL	動注	5時間	day1～5
④	ヘパリンNaロックシリンジ	10mL	動注	ワンショット	day1～5
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日間(1週)			PDまで継続		

その他(特記事項など)  
 ・動注は動注ポートより投与

## がん薬物療法レジメン

申請診療科	消化器内科
記入医師名	糸永 昌弘
診療科長名	北野 雅之

申請日	令和6年6月19日
登録(改訂)日	
登録番号	

プロトコール名	対象がん種	適応分類
nab-PTX+GEM(放射線併用)	膵癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	パロノセトロン点滴バッグ	0.75mg/50ml	DIV	全開	day 1 8 15
②	デキサート注射薬 生理食塩水	6.6mg/2ml 100mL	DIV	30分	day 1 8 15
③	nab-PTX 生理食塩水	100mg/m <sup>2</sup> 100mL	DIV	30分	day 1 8 15
④	ゲムシタビン 大塚糖液5%	800mg/m <sup>2</sup> 250mL	DIV	30分	day 1 8 15
⑤	生理食塩水	50mL	DIV	全開	day 1 8 15
1コースの期間 4週間			投与スケジュール及び総コース数 放射線治療期間(25回)、2コース		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
modified FOLFIRINOX療法	膵癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注 アロキシ点滴静注バッグ	9.9mg 50mL	点滴	30分	day 1
②	エルプラット点滴静注液 5%ブドウ糖	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day 1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day 1
側	カンプト点滴静注 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	③の側管から点滴	③と同時に開始し90分	day 1
④	5-FU注 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 92mL	インフューザーポンプ	46時間	day 1~3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) ・インフューザーポンプは2mL/hで投与する。 ・day 1の③投与60分~90分前にイメンドカプセル125mgを経口投与する。 ・day 2~3の午前中にイメンドカプセル80mg(1日1回)及びデカドロン4mg(1日1回)を経口投与する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
m FOLFOX6	結腸・直腸癌 小腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 1本	点滴	30分	day1
②	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/㎡ 250mL	点滴	120分	day1
③	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg/㎡ 250mL	②の側管 から点滴	②と同時に開 始し120分で	day1
④	5-FU 生理食塩液	400mg/㎡ 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	2400mg/㎡ total 92mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		

その他(特記事項など)

・インフューザーポンプは2mL/hで投与する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
modified FOLFOX	膵臓癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 1本	点滴	30分	day1
②	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
③	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	②の側管 から点滴	②と同時に開 始し120分で	day1
④	5-FU 生理食塩液	2000mg/m <sup>2</sup> total 92mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1-3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) ・イリノテカン不耐の場合に限る ・インフューザーポンプは2mL/hで投与する。 ・ゲムシタビン治療抵抗性症例、二次治療以降に適応する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
nal-IRI+FU/LV	膵癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート アロキシバッグ	9.9mg 0.75mg/50mL	点滴静注	15分	Day1
②	5%ブドウ糖注射液 オニバイド	500mL 70mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	90分	Day1
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	フラッシュ	Day1
④	レボホリナート 5%ブドウ糖注射液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	2時間	Day1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	フラッシュ	Day1
⑥	フルオロウラシル 生理食塩液	2,400mg/m <sup>2</sup> total 92mL	持続静注	46時間	Day1~3
1コースの期間  2週間			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		
その他（特記事項など） UGT1A1*6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体またはUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者は、CPT-11として1回量50mg/m <sup>2</sup> を開始用量とする。なお、忍容性が認められる場合は、1回量として70mg/m <sup>2</sup> に増量することができる。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivo+mFOLFOX6	治癒切除不能な 進行・再発の胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	240mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン点滴静注 バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液250mL	85mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
側	レボホリナート 5%ブドウ糖液250mL	200mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	フルオロウラシル 生理食塩液50mL	400mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	5分	day1
⑦	フルオロウラシル 生理食塩液50mL	2400mg/m <sup>2</sup> 1瓶	点滴	46時間	インフューザーポンプ
1コースの期間  14日間			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		
その他(特記事項など) ・ニボルマブはインラインフィルター使用					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab + SOX (L-OHP:100mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	100mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	TS-1		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

**その他(特記事項など)**

TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する  
 投与量は以下の通り、体表面積に応じて計算する  
 1.25m<sup>2</sup>未満: 80mg/day、1.25m<sup>2</sup>以上~1.5m<sup>2</sup>未満: 100mg/day、1.5m<sup>2</sup>以上: 120mg/day



## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab + SOX (L-OHP:130mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	130mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	TS-1		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

**その他(特記事項など)**

TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する  
 投与量は以下の通り、体表面積に応じて計算する  
 1.25m<sup>2</sup>未満: 80mg/day、1.25m<sup>2</sup>以上~1.5m<sup>2</sup>未満: 100mg/day、1.5m<sup>2</sup>以上: 120mg/day

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab+XELOX (L-OHP:100mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	100mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	ゼローダ		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

その他(特記事項など)

ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する  
 投与量は添付文書のC法に従って決定する

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab+XELOX (L-OHP:130mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	360mg 64mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン 点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	130mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑦	ゼローダ		内服		day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間			PDまで		

**その他(特記事項など)**

ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する  
 投与量は添付文書のC法に従って決定する

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab (240mg)+5FU+CDDP	根治切除不能な 進行・再発の食道 癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1,15
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	240mg/body 1瓶	点滴	30分	day1,15
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1,15
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液500mL	10mL 1袋	点滴	2時間	day1
⑤	パロノセトロン点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1袋 1瓶 2A	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液100mL デキサート注6.6mg	1瓶 1瓶	点滴	30分	day2-3
⑦	フロセミド注20mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	全開	フラッシュ	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液500mL	80mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	4時間	day1
⑨	5-FU 生理食塩液500mL	800mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	24時間	day1-5
⑩	生理食塩液500mL	1袋×2	点滴	4時間	day1
⑪	ポタコールR500mL	1袋×2	点滴	6時間	day1 (翌朝まで2本)
⑫	ポタコールR500mL	1袋	点滴	2時間	day2-3
1コースの期間 28日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		

## その他(特記事項など)

- ・インラインフィルター使用 ・イメンドカプセル使用
- ・CDDPは投与開始前日から翌日にかけてハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎・肝・心機能に応じ、投与量などを変更する
- ・フロセミドは尿量に応じ、適宜調節する

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Nivolumab (480mg)+5FU+CDDP	根治切除不能な 進行・再発の食道 癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	ルートキープ	day1
②	ニボルマブ 生理食塩液100mL	480mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 生理食塩液500mL	10mL 1袋	点滴	2時間	day1
⑤	パロノセトロン点滴静注バッグ0.75mg デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1袋 1瓶 2A	点滴	30分	day1
⑥	生理食塩液100mL デキサート注6.6mg	1瓶 1瓶	点滴	30分	day2-3
⑦	フロセミド注20mg 生理食塩液50mL	1A 1瓶	全開	フラッシュ	day1
⑧	シスプラチン 生理食塩液500mL	80mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	4時間	day1
⑨	5-FU 生理食塩液500mL	800mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	24時間	day1-5
⑩	生理食塩液500mL	1袋×2	点滴	4時間	day1
⑪	ポタコールR500mL	1袋×2	点滴	6時間	day1 (翌朝まで2本)
⑫	ポタコールR500mL	1袋	点滴	2時間	day2-3
1コースの期間 28日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで継続		

## その他(特記事項など)

- ・インラインフィルター使用 ・イメンドカプセル使用
- ・CDDPは投与開始前日から翌日にかけてハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎・肝・心機能に応じ、投与量などを変更する
- ・フロセミドは尿量に応じ、適宜調節する

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス+FOLFIRI	直腸・結腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン6.6mg アロキシ0.75mg 生理食塩液100mL	1V 1V 1V	点滴 (リザーバ)	30分	day1
②	ベクティビックス 生理食塩液100mL	6mg/Kg 1V	点滴 (リザーバ)	60分	day1
③	レボホリナート 生理食塩液 250ml	200mg/m <sup>2</sup>	点滴 (リザーバ) 同時に点滴 開始	2時間	day1
	トポテシン 生理食塩液 250mL	150mg/m <sup>2</sup>		90分	
④	5-FU 生理食塩液50mL	400mg/m <sup>2</sup>	急速静注 (リザーバ)	急速静注	day1
⑤	5-FU 生理食塩液250mL	2400mg/m <sup>2</sup>	インフューザーポン プ (リザー バ)	46時間 持続点滴	day1, 2, 3
1 コースの期間  1 4 日間			投与スケジュール及び総コース数  2週間隔投与 PDまで		
その他(特記事項など) ・ベクティビックス投与時は0.2または0.22ミクロンのインラインフィルターを用いて投与すること ・持続5FUは5mL/hで46時間投与となるように調製する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス+mFOLFOX6	直腸・結腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン6.6mg アロキシ0.75mg 生理食塩液100mL	1V 1V 1V	点滴 (リザーバ)	30分	day1
②	ベクティビックス 生理食塩液100mL	6mg/Kg 1V	点滴 (リザーバ)	60分	day1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖 250ml エルプラット 5%ブドウ糖 250mL	200mg/m <sup>2</sup> 85mg/m <sup>2</sup>	点滴 (リザーバ) 同時に点滴 開始	2時間	day1
④	5-FU 生理食塩液50mL	400mg/m <sup>2</sup>	点滴 (リザーバ)	急速静注	day1
⑤	5-FU 生理食塩液250mL	2400mg/m <sup>2</sup>	インフューザー ポンプ (リザーバ)	46時間 持続点滴	day1,2,3
1コースの期間  14日間			投与スケジュール及び総コース数  2週間隔投与 PDまで		
その他(特記事項など) ・ベクティビックス投与時は0.2または0.22ミクロンのインラインフィルターを用いて投与すること ・持続5FUは5mL/hで46時間投与となるように調製する。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ペルツズマブ・トラスツズマブ配合皮下注	がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ペルツズマブ・トラスツズマブ配合皮下注	初回 IN 2回目以降 MA	皮下注		day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日			PDまで		
その他(特記事項など) ・INは8分以上かけて ・MAは5分以上かけて					



(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab + GC	胆道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩水 50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩水 100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩水 50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロンバッグ0. デキサート注6.6mg	1袋 1瓶	点滴	全開	day1, 8
⑤	生理食塩水 250mL	1袋	点滴	60分	day1, 8
⑥	シスプラチン 生理食塩水500mL	25mg/m2 1袋	点滴	60分	day1, 8
⑦	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液 250mL	1000mg/m2 1袋	点滴	30分	day1, 8
⑧	生理食塩水 250mL	1袋	点滴	30分	day1, 8
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他（特記事項など） ・ 必要時、day2, 3にDEX8mg内服 ・ ペムブロリズマブは1回200mgを3週間隔投与であるが、必要時400mgを6週間隔投与することも可 ・ 最大8コースが終了後、ペムブロリズマブ、GEM併用に以降する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab + GEM (維持療法)	胆道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 (進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩水 50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	ペムブロリズマブ 生理食塩水 100mL	200mg/body 1瓶	点滴	30分	day1
③	生理食塩水 50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロンバッグ 0.75mg	1袋	点滴	全開	day1, 8
⑤	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液 250mL	1000mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	30分	day1, 8
⑥	生理食塩水 250mL	1袋	点滴	30分	day1, 8
1コースの期間 21日			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		

## その他 (特記事項など)

- ・ ペムブロリズマブは1回200mgを3週間隔投与であるが、必要時400mgを6週間隔投与することも可
- ・ Pembrolizumab+GC療法最大8コース終了後、ペムブロリズマブ、GEM併用に以降する。

## がん薬物療法レジメン

申請診療科	第二外科
記入医師名	早田 啓治
診療科長名	川井 学

申請日	令和6年6月25日
登録(改訂)日	
登録番号	41-1-075

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab+SOX(L-OHP:100mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	キイトルーダ 生食100mL	200mg 92mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg アロカリス点滴静注235mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	100mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	2時間	day1
⑥	生食50mL	1袋	点滴	フラッシュ	day1
⑦	TS-1		内服		day1-14
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する。 投与量は以下の通り、体表面積に応じて計算する。 1.25m <sup>2</sup> 未満:80mg/day、1.25~1.5m <sup>2</sup> 未満:100mg/day、1.5m <sup>2</sup> 以上:120mg/day					

## がん薬物療法レジメン

申請診療科	第二外科
記入医師名	早田 啓治
診療科長名	川井 学

申請日	令和6年6月25日
登録(改訂)日	
登録番号	41-1-075※

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab+SOX(L-OHP:130mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	キイトルーダ 生食100mL	200mg 92mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg アロカリス点滴静注235mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	130mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	2時間	day1
⑥	生食50mL	1袋	点滴	フラッシュ	day1
⑦	TS-1		内服		day1-14
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など) TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する。 投与量は以下の通り、体表面積に応じて計算する。 1.25m <sup>2</sup> 未満:80mg/day、1.25~1.5m <sup>2</sup> 未満:100mg/day、1.5m <sup>2</sup> 以上:120mg/day					

## がん薬物療法レジメン

申請診療科	第二外科	申請日	令和6年6月25日
記入医師名	早田 啓治	登録(改訂)日	
診療科長名	川井 学	登録番号	41-1-076

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab+XELOX(L-OHP:100mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	キイトルーダ 生食100mL	200mg 92mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg アロカリス点滴静注235mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	100mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	2時間	day1
⑥	生食50mL	1袋	点滴	フラッシュ	day1
⑦	ゼローダ		内服		day1-14
1コースの期間 21日間			投与スケジュール及び総コース数 PDまで		
その他(特記事項など)  ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する。 投与量は添付文書のC法に従って決定する。					

## がん薬物療法レジメン

申請診療科	第二外科
記入医師名	早田 啓治
診療科長名	川井 学

申請日	令和6年6月25日
登録(改訂)日	
登録番号	41-1-076※

プロトコール名	対象がん種	適応分類
Pembrolizumab+XELOX(L-OHP:130mg/m <sup>2</sup> )	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1
②	キイトルーダ 生食100mL	200mg 92mL	点滴	30分	day1
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
④	パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg アロカリス点滴静注235mg デキサート注6.6mg	1袋 1瓶 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液500mL	130mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	2時間	day1
⑥	生食50mL	1袋	点滴	フラッシュ	day1
⑦	ゼローダ		内服		day1-14

1コースの期間 21日間	投与スケジュール及び総コース数 PDまで
-----------------	-------------------------

その他(特記事項など)  
 ゼローダはday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬する。  
 投与量は添付文書のC法に従って決定する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
RAM + nab-PTX	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサト注 ポララミン注	0.75mg/50mL 6.6mg 5mg	点滴	30分	day1,15
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサト注	0.75mg/50mL 6.6mg	点滴	30分	day8
②	サイラムザ注 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴	60分	day1,15
③	生理食塩液	50 mL	点滴	60分	day1,15
④	アブラキサン注 生理食塩液	100mg/m <sup>2</sup> 1ハ <sup>イ</sup> アルあたり生食 20mLで溶解	点滴	30分	day1,8,15
⑤	生理食塩液	50 mL	点滴	フラッシュ	day1,8,15
1コースの期間  28日間(3投1休)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		
その他(特記事項など) ・サイラムザはフィルター使用(蛋白透過型のフィルター0.2又は0.22ミクロン) ・アブラキサンはフィルター使用不可 ・アブラキサンは壊死性抗癌剤 ・③の生理食塩液については、サイラムザ2回目までの投与でinfusion reactionがなければ、省略可能 ・アルコール不耐の患者限定とする					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名			対象がん種	適応分類		
S1+CDDP (short hydration)			胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他		
順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日	
①	フィジオ140 MgSO4補正液	500mL 8 mEq	点滴	500mL/h	day 8	
②	フィジオ140	500mL	点滴	500mL/h	day 8	
③	プロイメンド150mg 生理食塩液	250mL	点滴	500mL/h	day 8	
④	アロキシバッグ デキサート注	50mL 9.9mg	点滴	500mL/h	day 8	
⑤	生理食塩液 シスプラチン	総量500mL 60mg/m <sup>2</sup>	点滴	500mL/h	day 8	
⑥	フィジオ140 フロセミド	500mL 20mg	点滴	500mL/h	day 8	
⑦	フィジオ140	500mL	点滴	500mL/h	day 8	
	TS-1	80mg/m <sup>2</sup> 下記参照	内服		day 1~21	
1 コースの期間			投与スケジュール及び総コース数			
35日間 (5週間)			35日を1コース PDまで継続			
その他 (特記事項など) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TS-1は下記の投与量を1日2回朝夕食後に分割して内服する。                体表面積 1.25未満 : 80mg 、1.25以上1.5未満 : 100mg 、1.5以上 : 120mg</li> <li>・ シスプラチン終了時で飲水500mLできれば⑦の生食は省略可能</li> <li>・ 治療前日に飲水1000mL、 day 9, 10に飲水もしくは輸液を1000mL程度行う。</li> <li>・ Day8, 11, 15に採血 (血算、腎機能、電解質) を施行。</li> <li>・ 遅発性嘔吐対策として、day9~11まで原則としてデカドロン8mg/dayを経口内服する。</li> <li>・ 外来で施行時 : 曜日は月曜日ないし木曜日で10時までには治療開始</li> </ul>						



(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
S-IROX	膵がん	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
③	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液250mL	85mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑤	イリノテカン 5%ブドウ糖液250mL	150mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間  14日			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		

その他(特記事項など)

- ・TS-1 20-40mg/m<sup>2</sup> 1日2回 day1-7まで内服  
(BSA<1.25m<sup>2</sup>: 80mg/day、1.25m<sup>2</sup>≤BSA<1.5m<sup>2</sup>: 100mg/day、1.5m<sup>2</sup>≤BSA: 120mg/day)
- ・アプレピタント併用

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
S-1+ドセタキセル療法(術後補助化学療法)	胃癌	<input type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ 3mg ポララミン注5mg デキサート注6.6mg	1袋 1A 1瓶	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル 生理食塩液	40mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	TS-1	80mg/m <sup>2</sup>	経口	/	day1-14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			21日間(3週間)を1コースとして6コース繰り返す		

**その他(特記事項など)**

- ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後、7日間休薬  
(体表面積 1.25未満:80mg/day、1.25以上1.5未満:100mg/day、1.5以上:120mg/day)
- ・術後補助化学療法として、1コース目はTS-1単剤を14日間連続投与→7日間休薬にて実施。2コース目から7コース目まで、TS-1+ドセタキセル療法を計6コース実施する。8コース目以降はTS-1単剤を28日間連続投与→14日間休薬を1コースとして術後1年後(10または11コース)まで3または4コース継続する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
S1+CDDP	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day8
①	デカドロン注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管)	30分	day9～10
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day8
③	ランダ注 生理食塩液	60mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴 (側管)	4時間	day8
/	TS-1	80mg/m <sup>2</sup>	経口	/	day1～21
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
35日間(5週間)			ランダはday8のみ、TS-1はday1から21日 連続服用後14日間休薬を1コース PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ランダは投与量に相当する生食をボトルから抜いてから混合し、totalとして500mLとする。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SLOG	膵がん	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注0.75mg デキサート注6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
③	ゲムシタビン 生理食塩液100mL	800mg/m <sup>2</sup> 1瓶	点滴	30分	day1
④	5%ブドウ糖液100mL	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液250mL	85mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	120分	day1
⑥	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日			PDまで		
その他(特記事項など) ・TS-1 20-40mg/m <sup>2</sup> 1日2回 day1-7まで内服 (BSA<1.25m <sup>2</sup> :80mg/day、1.25m <sup>2</sup> ≤BSA<1.5m <sup>2</sup> :100mg/day、1.5m <sup>2</sup> ≤BSA:120mg/day) ・ロイコポリン 20mg/m <sup>2</sup> 1日2回 day1-7まで内服					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
sLV5FU2	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1
②	アイソボリン 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
③	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
④	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1～3
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
14日間(2週間)			PDまで継続		
その他(特記事項など)  ・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
S0X	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注 6.6mg アロキシバッグ 0.75mg	1V 1袋	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5% ブドウ糖	130 mg/m <sup>2</sup> 500 mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50 mL	点滴	フラッシュ	day1
④	TS-1	下記参照	内服	1日2回 朝・夕食後	day1~14
⑤					
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		

### その他(特記事項など)

- ・TS-1は、day1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後7日間休薬する。  
投与開始用量は以下の通り、体表面積にて行う。  
体表面積 1.25 m<sup>2</sup>未満 : 80mg/day    1.25 m<sup>2</sup>以上~1.5 m<sup>2</sup>未満 : 100mg/day  
1.5 m<sup>2</sup>以上 : 120 mg/day

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+SOX	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート注 6.6mg アロキシバッグ 0.75mg	1V 1袋	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	7.5 mg/kg 100 mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	エルプラット 5% ブドウ糖	130 mg/m <sup>2</sup> 500 mL	点滴	120分	day1
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑤	TS-1	下記参照	内服	1日2回 朝・夕食後	day1~14
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  ベバシズマブ・エルプラットは1投2休 TS-1は14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他(特記事項など) ・ベバシズマブは初回90分で点滴し、問題なければ次回から60分に。 60分で問題なければ30分に点滴速度を変更して投与する。 ・TS-1は、day1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで服用後7日間休薬する。 投与開始用量は以下の通り、体表面積にて行う。 体表面積 1.25 m <sup>2</sup> 未満 : 80mg/day    1.25 m <sup>2</sup> 以上~1.5 m <sup>2</sup> 未満 : 100mg/day 1.5 m <sup>2</sup> 以上 : 120 mg/day					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SOX100+トラスツズマブ	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注射液	0.75mg/50mL 6.6mg/2mL	点滴	30分	day1
②	エルプラット点滴静注液 ブドウ糖注5%バッグ	100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	ハーセプチン 生理食塩液	6mg/kg (初回のみ8mg/kg) 250mL	点滴	30分 (初回のみ90分)	day1
	TS-1	下記参照	経口		day1～day14
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  21日間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		

### その他(特記事項など)

- ・CDDP使用不可症例に限る
- ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day15朝食後まで服用後7日間休薬
- 体表面積 1.25未満:80mg/day、1.25以上1.5未満:100mg/day、1.5以上:120mg/day
- ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで投与時間を短縮可能とする。
- ・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量8mg/kgを投与する。



## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
SOX130+トラスツズマブ	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注射液	0.75mg/50mL 6.6mg/2mL	点滴	30分	day1
②	エルプラット点滴静注液 ブドウ糖注5%バッグ	130mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	ハーセプチン 生理食塩液	6mg/kg (初回のみ8mg/kg) 250mL	点滴	30分 (初回のみ90分)	day1
	TS-1	下記参照	経口		day1～day14
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  21日間を1コースとして繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・CDDP使用不可症例に限る ・TS-1はday1の夕食後から開始し、day15朝食後まで服用後7日間休薬 体表面積 1.25未満:80mg/day、1.25以上1.5未満:100mg/day、1.5以上:120mg/day ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで投与時間を短縮可能とする。 ・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量8mg/kgを投与する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ストレプトゾシン+5FU	膵神経内分泌癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	フィジオ140 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
②	ソルデム3A 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
③	パロノセトロンバッグ デキサート注	1本 9.9mg	点滴	30分	day1
④	ザノサー 生理食塩液500mL	500mg/m <sup>2</sup> 1袋	点滴	1時間	day1-5
⑤	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1-5
⑥	5FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	30分	day1-5
⑦	フィジオ140 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
⑧	ソルデム3A 500mL	1本	点滴	60分	day1-5
⑨	生理食塩液 デキサート注	100mL 6.6mg	点滴	30分	day2-3
1コースの期間 <p style="text-align: right;">42日</p>			投与スケジュール及び総コース数 <p style="text-align: right;">PDまで</p>		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
トラスツズマブ デルクステカン	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート グラニセトロンバッグ	6.6mg 3mg/100mL	点滴	15分	Day1
②	5%ブドウ糖液	100mL	点滴	フラッシュ	Day1
③	トラスツズマブ デルクステカン 5%ブドウ糖液	6.4mg/kg 100mL	点滴	90分 (2回目以降30分)	Day1
④	5%ブドウ糖液	100mL	点滴	フラッシュ	Day1
⑤					
1コースの期間  3週間			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		

その他(特記事項など)

- ・3次治療以降
- ・0.2  $\mu$  mのインラインフィルター(ポリエステルスルホン製またはポリスルホン製)を通して投与すること。
- ・本剤と生理食塩液との混合を避け、生理食塩液と同じルートを用いた同時投与は行わないこと。
- ・点滴バッグを遮光すること。
- ・室温で4時間以内、2-8°Cで24時間以内。

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
triweekly アブラキサン	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day 1
②	アブラキサン 生理食塩液	260mg/m <sup>2</sup> 100mL (※)	点滴	30分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day 1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) ・アブラキサン1Vに対し生理食塩液20mLで溶解し、そこから必要量を採取して投与する。 ・投与時は、インラインフィルターは使用しないこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
triweekly DTX	胃癌、食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	カイトリルバッグ3mg ポララミン注5mg デキサート注6.6mg	1袋 1A 1V	点滴	30分	day1
2	ドセタキセル 生理食塩液250mL	※60mg/m <sup>2</sup> 1V	点滴	60分	day1
3	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1
4					
5					
6					

1コースの期間  21日(3週間)	投与スケジュール及び総コース数
-------------------------	-----------------

その他(特記事項など)  
ドセタキセルの用量は、胃癌には、60mg/m<sup>2</sup>、食道癌には70mg/m<sup>2</sup>とする。

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
triweekly アブラキサン	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day 1
②	アブラキサン 生理食塩液	260mg/m <sup>2</sup> 100mL (※)	点滴	30分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day 1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間  21日(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) ・アブラキサン1Vに対し生理食塩液20mLで溶解し、そこから必要量を採取して投与する。 ・投与時は、インラインフィルターは使用しないこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
トレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法	切除不能 肝細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食50mL	50mL	点滴	全開	day1
②	トレメリムマブ 生食250mL	300mg/body 250mL	点滴	60分	day1
③	生食50mL	50mL	点滴	フラッシュ	day1
④	デュルバルマブ 生食250mL	1500mg 250mL	点滴	60分	day1
⑤	生食50mL	50mL	点滴	フラッシュ	day1
⑥					
1 コースの期間  28日間（4週間）			投与スケジュール及び総コース数 1コース目 ※2コース目以降はデュルバルマブを4週間間隔で PDまで		
その他（特記事項など） <ul style="list-style-type: none"> <li>・インラインフィルター（0.2又は0.22<math>\mu</math>m）使用。</li> <li>・同一の点滴ラインを使用して他の薬剤を同時投与しない。</li> <li>・初回のみイミフィンジ+イジユド併用とする。</li> <li>・イジユドの投与量については体重が30kg以下の場合は4mg/kgとする。</li> <li>・イミフィンジの投与量については体重が30kg以下の場合は20mg/kgとする。</li> <li>・2コース目以降はデュルバルマブ単剤で継続</li> </ul>					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 TS-1+ドセタキセル療法	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg デキサート6.6mg	1袋 1V	点滴	30分	day1
②	ドセタキセル 生理食塩液	40mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1
③	TS-1	80mg/m <sup>2</sup>	経口	/	day1-14
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  21日間(3週間)を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		

その他(特記事項など)  
 ドセタキセルの溶解には原則添付溶解液(アルコール含有)を用いて行う。  
 アルコール過敏症の患者については、患者登録時にその旨を記載すること。  
 ⇒生理食塩液溶解法を用いて作成する。



## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
weekly アブラキサン	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサート6.6mg 生理食塩液	1V 100mL	点滴	30分	day 1
②	アブラキサン 生理食塩液	100mg/m <sup>2</sup> 50mL (※)	点滴	30分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開 フラッシュ	day 1
④					
⑤					
⑥					
1 コースの期間  21日（3週間）			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他（特記事項など） ・ アブラキサン1Vに対し生理食塩液20mLで溶解し、そこから必要量を採取して投与する。 ・ 投与時は、インラインフィルターは使用しないこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Weekly CPT-11	胃癌 大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	カイトリルバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1,8,15
②	トポテシン 生理食塩液	80-100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day1,8,15
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間(4週間)			3投1休を1クールとして繰り返す。 PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

患者によって必要時、以下の処置を行う。

- ・デカドロン注をカイトリルに混合し、前投与する場合あり。
- ・カイトリルバッグをpostメディケーションとして追加投与する場合あり。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
weeklyパクリタキセル療法	胃癌 悪性軟部腫瘍(肉腫) 食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ガスター注 ポララミン注 生理食塩液	1V 1A 3A 50mL	点滴	全開で (5分程度)	day1,8,15
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day1,8,15
③	パクリタキセル 生理食塩液	60~80mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	60分	day1,8,15
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1,8,15
1コースの期間  28日間(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  3投1休で繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
Xeloda+CDDP	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ静注 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
①	デカドロン注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管)	30分	day2, 3
②	ラシックス注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
③	ランダ注 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> Total 500mL	点滴 (側管)	4時間	day1
/	ゼローダ	下記参照	経口	/	day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			ランダはday1のみ、 ゼローダはday1の夕から14日間 (day15の朝まで)連続服用後7日間休薬 を1コース PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

- ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始し、day15の朝食後までとする。
- 体表面積 1.36未満 : 1,200mg 、 1.36以上1.66未満 : 1,500mg 、 1.66以上1.96未満 : 1,800mg  
1.96以上 : 2,100mg
- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。イメンドを併用す

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XELOX	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液50mL	1V	点滴	フラッシュ	day 1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 進行・再発にはPDまで 術後補助療法は8コース施行		
その他(特記事項など) ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg 1.96以上：2,100mg ・術後補助療法に使用する場合は、イメンド(3日間)及びデカドロン4mg(day2,3)を併用する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XELOX	結腸・直腸癌 小腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液100mL アロキシ注0.75mg デカドロン注6.6mg	1V 1V 1V	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液50mL	1V	点滴	200mL/hで フラッシュ	day 1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後すぐ	day1～14
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日間(3週間)			エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他(特記事項など) ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg 1.96以上：2,100mg					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XELOX+Trastuumab	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg デキサート注	1袋 6.6mg	点滴	30分	day1
②	エルプラット 5%ブドウ糖	130mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day1
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1
④	ハーセプチン 生理食塩液	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 250mL	点滴	90分	day 1
	ゼローダ	下記参照	内服	1日2回 朝夕食後す ぐ	day1~14
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  エルプラットは1投2休 ゼローダは14日間内服後7日休薬 PDまで		
その他(特記事項など) ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始する。 体表面積 1.36未満:1,200mg、1.36以上1.66未満:1,500mg、1.66以上1.96未満:1,800mg 1.96以上:2,100mg ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性に問題なければ2回目以降、30分で点滴可能 ・ハーセプチンは次回点滴予定日より1週間以上遅れて開始(day30以降)する場合は、初回量(8mg/kg)投与する。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
XELIRI	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシ注0.75mgバッグ デキサート6.6mg	1バッグ 1V	点滴	30分	day 1
②	カンプト点滴静注 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1
⑤	ゼローダ	1600mg/m <sup>2</sup> /day (下記参照)	内服		day 1～15
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
21日(3週間)			PDまで		

## その他(特記事項など)

- ・ゼローダはday 1の夕食後から開始し、day 15の朝食後まで服用後7日間休薬
- ・ゼローダの標準投与量は体表面積に合わせて次に基づき投与する。  
 1,31m<sup>2</sup>未満:1800mg/日 1,31以上1,69m<sup>2</sup>未満:2400mg/日 1,69以上2,07m<sup>2</sup>未満:3000mg/日  
 2,07m<sup>2</sup>以上:3600mg/日
- ・UGT1A1の遺伝子多型を測定し、ホモ又はダブルヘテロの場合はカンプトの投与量を150mg/m<sup>2</sup>に減量する。



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
XP (Xeloda + CDDP) + ハーセプチン	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
②	デキサート注6.6mg アロキシバッグ	1V 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
①	ハーセプチン 生理食塩液	6mg/kg (初回8mg/kg) 250mL	点滴 (側管)	90分	day1
②	デキサート注1.65mg 生理食塩液	2A 100mL	点滴 (側管)	30分	day2, 3
③	フロセミド注20mg 生理食塩液	1A 100mL	点滴 (側管)	30分	day1
④	シスプラチン注 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> Total 500mL	点滴 (側管)	4時間	day1
/	ゼローダ	下記参照	経口	/	day1～14
1コースの期間  21日間(3週間)			投与スケジュール及び総コース数  ハーセプチン、シスプラチンはday1のみ、 ゼローダはday1の夕から14日間 (day15の朝まで)連続服用後7日間休薬 を1コース PDまで継続		

### その他(特記事項など)

- ・ゼローダはday1の夕食後から以下の投与量(1回量として)で開始し、day15の朝食後までとする。  
 体表面積 1.36未満：1,200mg、1.36以上1.66未満：1,500mg、1.66以上1.96未満：1,800mg  
 1.96以上：2,100mg
- ・ゼローダによるHFSの予防のため、内服開始時より保湿クリームによる皮膚保護を実施する。
- ・ランダ投与開始前日～投与翌日にかけて、5～6000mLのハイドレーションを実施し、年齢・体重・腎  
 肝心機能等に応じ投与量などを変更する。
- ・ラシックスは尿量に応じ、適宜調節。
- ・支持療法は患者の状態や副作用の発現状況に応じ適宜、変更や増減を行う。イメンドを併用する。
- ・ハーセプチンは初回90分で点滴し、忍容性が良好であれば2回目以降、30分まで短縮可能とする。
- ・ハーセプチンは予定投与日より1週間を超えた後に投与する場合、初回量の8mg/kgを投与する。
- ・その他、休薬及び再開に関する基準等については、ToGA studyの基準に基づき施行する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注8mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 1
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m <sup>2</sup> (初回は400mg/m <sup>2</sup> ) 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1
1コースの期間  7日(1週間)			投与スケジュール及び総コース数  毎週投与 PDまで継続		

**その他(特記事項など)**

- ・投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。
- ・初回は400mg/m<sup>2</sup>を2時間で、2回目以降は250mg/m<sup>2</sup>を1時間かけて点滴する。
- ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後 1時間経過観察とする。
- ・アービタックスによるGrade3以上の皮膚症状が発現した場合は、添付文書に基づき、次回からの投与量の調節を行うこと。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス＋FOLFIRI	EGFR陽性の治癒切除不可能な進行・再発の結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポラミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約5分)	day 1,8
②	アロキン注 生理食塩液100mL	1V	点滴	30分	day 1
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m <sup>2</sup> (初回は400mg/m <sup>2</sup> ) total 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1,8
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 8
⑥	レボホリナート 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day 1
側	トポテシン注 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250mL	⑥の側管から	⑥と同時に開始し90分で	day 1
⑦	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	全開で	day 1
⑧	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 92mL	インフューザーポンプ	46時間	day 1
1コースの期間  14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  アービタックスは毎週投与 FOLFIRIはbiweeklyで投与 を1コースとしてPDまで継続		
その他(特記事項など) ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックスによるG3以上の皮膚症状発現時は、添付文書に基づき、投与量の調節を行うこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス+biweekly CPT-11	EGFR陽性の治癒 切除不可能な進 行・再発の結腸・ 直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注8mg ポラミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 1A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1,8,15,22,29,36,43
②	カイトリルバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,15,29
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 8,22,,36,43
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m <sup>2</sup> (初回は400mg/m <sup>2</sup> ) 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1,8,15,22,29,36,43
④	生理食塩液	100mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1,15,29
④	生理食塩液	50mL	フラッシュ用	250mL/h	day 8,22,,36,43
⑤	経過観察			1時間以上	day 1,8,15,22,29,36,43
⑥	トポテシン注 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1,15,29
1コースの期間  50日(7週間)			投与スケジュール及び総コース数  アービタックスは毎週投与 トポテシンはbiweeklyで3回投与後3週間休薬 を1コースとしてPDまで継続		
その他(特記事項など) ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後経過観察とする。なお、 day8,22,,36,43はフラッシュ終了後は抜針し、経過観察とする。 ・アービタックスによるGrade3以上の皮膚症状が発現した場合は、添付文書に基づき、次回からの投 与量の調節を行うこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
アービタックス+CPT-11	EGFR陽性の治癒 切除不可能な進 行・再発の結腸・ 直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg ポララミン注5mg ガスター注20mg 生理食塩液	1V 3A 1A 50mL	点滴	全開で (約 5分)	day 1,8,15,22,29,36
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,8,15,22
②	生理食塩液	50mL	点滴	30分	day 29,36
③	アービタックス注 生理食塩液	250mg/m <sup>2</sup> (初回は400mg/m <sup>2</sup> ) 250mL (初回は500mL)	点滴	60分 (初回は 120分)	day 1,8,15,22,29,36
④	生理食塩液	100mL	フラッシュ用	250mL/h	day 1,8,15,22,29,36
⑤	経過観察			1時間以上	day 1,8,15,22,29,36
⑥	カンプト 生理食塩液	100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1,8,15,22
1コースの期間  42日(6週間)			投与スケジュール及び総コース数  アービタックスは毎週投与 トポテシンは4投2休として繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・アービタックス投与前のプレメディケーションについては、患者の状態に合わせて増減する。 ・アービタックス終了後は、同じ速度で生食フラッシュを行い、その後経過観察とする。なお、day29,36はフラッシュ終了後は抜針し、経過観察とする。 ・アービタックスによるGrade3以上の皮膚症状が発現した場合は、添付文書に基づき、次回からの投与量の調節を行うこと。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU 動注併用	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	250mg	動注	②開始1時間 後に動注	day 1,8,15,22,29,36
④	5-FU	600mg/m <sup>2</sup> -250mg	静注	②開始1時間 後に静注	day 1,8,15,22,29,36
⑤					
⑥					
1コースの期間  56日間(8週間)			投与スケジュール及び総コース数  weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 PDまで継続。		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	600mg/m <sup>2</sup>	静注	②開始1時間 後に側管から	day 1,8,15,22,29,36
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  8週間(6投2休)			投与スケジュール及び総コース数  weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 StageⅢaには3クール、Ⅲbには6クール、再発・ 進行癌にはPDまで継続。		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU/CPT-11 動注併用	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	250mg	動注	②開始1時間 後に動注	day 1,8,15,22,29,36
④	5-FU	600mg/m <sup>2</sup> -250mg	静注	②開始1時間 後に静注	day 1,8,15,22,29,36
⑤	CPT-11 5%ブドウ糖液	80-100mg/m <sup>2</sup> 500mL	静注	②開始1時間 後、5-FU iv後 に120分かけ て静注	day1,15,29
1コースの期間  56日間(8週間)			投与スケジュール及び総コース数  weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 その間CPT-11は隔週投与。PDまで継続。		
その他(特記事項など)					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 アイソボリン/5-FU/CPT-11	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	セロトーン注10mg 5%ブドウ糖液	1A 100mL	点滴	30分	day 1,8,15,22,29,36
②	アイソボリン ヴィーンD	250mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	120分	day 1,8,15,22,29,36
③	5-FU	600mg/m <sup>2</sup>	静注	②開始1時間 後に側管から	day 1,8,15,22,29,36
④	カンプト 5%ブドウ糖液	80-100mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	②開始1時間 後、5-Fu iv後 に側管から 120分かけて	day 1,15,29
⑤					
1コースの期間  56日間(8週間)			投与スケジュール及び総コース数  weekly投与。6投2休で1クールとして繰り返す。 その間CPT-11は隔週投与。PDまで継続。		
その他(特記事項など)					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
アブラキサン+ゲムシタピン療法	膵癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバッグ0.75mg	1袋	点滴	全開	day 1, 8, 15
②	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴	30分	day 1, 8, 15
③	アブラキサン 生理食塩液	125mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day 1, 8, 15
④	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1, 8, 15
⑤	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day 1, 8, 15
⑥	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day 1, 8, 15
1コースの期間  28日(4週間)			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1コース(3投1休)として繰り返す。 PDまで継続		
その他(特記事項など) ・必要時Day 2～3にデカドロン錠4mg(1日1回)を経口投与する。					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ザノサー	膵・消化管神経内 分泌腫瘍	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	フィジオ140	500mL	点滴	60分	day1
	フィジオ140	500mL	点滴	60分	day1
②	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg アロキシバック	1V 2A 1袋	点滴	30分	day1
③	ザノサー 生理食塩液	1000～1500mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	60分	day1
④	フィジオ140	500mL	点滴	60分	day1
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
7日間			PDまで		
その他(特記事項など) イメンド併用					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
GEM2投1休+TS-1併用療法	膵臓癌 胆道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	アロキシバグ0.75mg デキサート注 生理食塩液	1袋 3.3mg 100mL	点滴	30分	day1.8
②	ジェムザール注 生理食塩液	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day1.8
③	生理食塩液	50mL	点滴	フラッシュ	day1.8
④	TS-1	80mg/m <sup>2</sup>	内服		下記参照
⑤					

1コースの期間

21日(3週間)

投与スケジュール及び総コース数

PDまで

その他(特記事項など)

- ・TS-1は連日内服の場合、下記の量を朝夕食後1日2回に分割し、day1~14内服。  
体表面積 1.25未満 : 60mg、1.25以上1.5未満 : 80mg、1.5以上 : 100mg TS-1は下記の量を朝夕食後1日2回に分割し、day1~14日間連日内服を行う。
- ・忍容性に問題がなければ、2コース目からは、TS-1の量を下記に増量可能とする。  
体表面積 1.25未満 : 80mg、1.25以上1.5未満 : 100mg、1.5以上 : 120mg
- ・膵臓癌については、TS-1は、連日内服による副作用軽減を目的とする場合、隔日投与(月・水・金・日内服)で行う場合もあり。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
2外 ジェムザール3投1休	膵臓癌 胆管癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1,8,15
②	ジェムザール 生理食塩液	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	点滴	30分	day 1,8,15
③					
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間			投与スケジュール及び総コース数		
28日間(4週間)			PDまで継続 アジュバント療法には6コース		

その他(特記事項など)  
患者によって必要時、デカドロン注をグラニセトロンに混合し、前投与する場合有り

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ゾルベツキシマブ + CAPOX	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	パロノセトロン点滴静注バック0.75mg アロカリス点滴静注235mg ポララミン5mg デキサート	1袋 1瓶 1A 9.9mg	点滴	30分	Day1
②	生理食塩液50ml	1瓶	点滴	フラッシュ	Day1
③	ビロイ点滴静注100mg 生理食塩液2000ml/1000ml 希釈（溶解は注射用水）	600mg/m <sup>2</sup> （初回は800mg/m <sup>2</sup> ） 流速75mg/m <sup>2</sup> /時（初回は100mg/m <sup>2</sup> /時）	点滴	60分まで	Day1
		忍容性確認できたら 流速150-300mg/m <sup>2</sup> /時（初回は200-400mg/m <sup>2</sup> /時）		60分以降	Day1
④	生理食塩液50ml	1瓶	点滴	フラッシュ	Day1
⑤	オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup>	点滴	120分	Day1
	5%ブドウ糖液500ml	1袋			
⑥	生理食塩液50ml	1瓶	点滴	フラッシュ	Day1
⑦	ゼローダ	下記参照	内服		Day1-14
⑧	デキサメタゾン	8mg	内服		Day2-3

1 コースの期間

21日間

投与スケジュール及び総コース数

8コースまで、それ以降はビロイ+カペシタビン2週間投与1週間休薬をPDまで

その他（特記事項など）

- ・ オランザピン5mgは前日眠前もしくは当日朝の投与（2回目以降も患者の様子を見つつ投与を判断）
- ・ 必要に応じアルプラザラム錠0.4mg 1錠内服（ビロイ投与開始30分以上前に内服）
- ・ 投与中の悪心嘔吐発現時は30分中断、再開時は減速して投与
- ・ ビロイは1バイアルを注射用水5.0mlで溶解、その後の希釈は2mg/mlとなるよう生理食塩液
- ・ ビロイは2時間以上かけて投与
- ・ ゼローダはday1の夕食後から開始、day15の朝食後まで1日2回食後服用後、7日間休薬、投与量は添付文書のC法に従って決定（1000mg/m<sup>2</sup>/回 体表面積）

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ゾルベツキシマブ + mFOLF0X6	胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	パロノセトロン点滴静注バック0.75mg アロカリス点滴静注235mg ポララミン5mg デキサート	1袋 1瓶 1A 9.9mg	点滴	30分	Day1
②	生理食塩液50ml	1瓶	点滴	フラッシュ	Day1
③	ビロイ点滴静注100mg 生理食塩液に200mg/mlに 希釈（溶解は注射用 水）	400mg/m <sup>2</sup> （初回は 800mg/m <sup>2</sup> ） 流速50mg/m <sup>2</sup> /時（初回は 100mg/m <sup>2</sup> /時）	点滴	60分まで	Day1
		忍容性確認できたら 流速100-200mg/m <sup>2</sup> /時（初 回は200-400mg/m <sup>2</sup> /時）		60分以降	Day1
④	生理食塩液50ml	1瓶	点滴	フラッシュ	Day1
⑤	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴	120分	Day1
	5%ブドウ糖液500ml	250ml			
⑥	オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup>	⑤の側 管から 点滴	⑤と同時に 開始し120分 で	Day1
	5%ブドウ糖液500ml	250ml			
⑦	フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	点滴	15分以内 （全開）	Day1
	生理食塩液	50ml			
⑧	フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	インフュー ザーポンプ	46時間	Day1-3
	生理食塩液	total 92ml			
⑨	デキサメタゾン	8mg	内服		Day2-3
1コースの期間  14日間			投与スケジュール及び総コース数  12コースまで、それ以降はビロイ+フルオロウラシル及びレボホリナートを2週間隔PDまで		
その他（特記事項など） ・オランザピン5mgは前日眠前もしくは当日朝の投与（2回目以降も患者の様子を見つつ投与を判断） ・必要に応じアルプラゾラム錠0.4mg 1錠内服（ビロイ投与開始30以上前に内服） ・投与中の悪心嘔吐発現時は30分中断、再開時は減速して投与 ・ビロイは1バイアルを注射用水5.0mlで溶解、その後の希釈は2mg/mlとなるよう生理食塩液 ・ビロイは2時間以上かけて投与 ・インフューザーポンプは2ml/hで投与					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ニボルマブ	胃癌 食道癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	オブジーボ 生理食塩液	240mg/body 100mL	点滴	30分	day1
②	生理食塩液(フラッシュ)	50mL	点滴	15分	day1
1コースの期間  14日(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		
その他(特記事項など) インラインフィルター(0.2または0.22 $\mu$ m)を使用して投与する。 infusion reactionを認めた場合は、次サイクルより前投薬の追加を考慮する。 4週間間隔で投与する場合は、480mg/bodyとする。					



## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法	がん化学療法後に増悪したMSI-Hを有する結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食50mL ポララミン5mg	1瓶 1A	点滴	15分	day1
②	オプジーボ 生食100mL	240mg/body 76mL	点滴	30分	day1
③	生食50mL	1瓶	点滴	30分	day1
④	ヤーボイ 生食50mL	1mg/kg 1瓶	点滴	30分	day1
⑤	生食50mL	1瓶	フラッシュコ	5分	day1
⑥					
1コースの期間  21日			投与スケジュール及び総コース数  3週ごとに計4コース実施 以後維持療法としてニボルマブ単剤を繰り返す		

## その他（特記事項など）

- ・フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチン及びイリノテカン塩酸塩水和物 による化学療法歴があること
- ・ニボルマブ、イピリムマブ共にインラインフィルター使用
- ・イピリムマブは1~4mg/mLの濃度になるように調製
- ・維持療法は、ニボルマブ240mg/bodyを2週間間隔もしくはニボルマブ480mg/bodyを4週間隔で施行する。

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法	根治切除不能な 進行・再発の食道 癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	全開	day1,22
②	オブジーボ	360mg/body	点滴	30分	day1,22
	生理食塩液100mL	1瓶			
③	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	30分	day1,22
④	ヤーボイ	1mg/kg	点滴	30分	day1
	生理食塩液50mL	1瓶			
⑤	生理食塩液50mL	1瓶	点滴	フラッシュ	day1
⑥					
1コースの期間  6週(42日)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで		

その他(特記事項など)

- ・1次治療のみ
- ・インラインフィルター(0.2または0.22 $\mu$ m)を使用して投与する
- ・ヤーボイは合計40mLになるように調製する

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス+CPT-11	結腸・直腸がん	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ガラセトロンパッグ 3mg デカドロン	1袋 6.6mg	点滴	30分	day 1
②	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴	60分	day 1
③	生理食塩液	50mL	点滴	15分	day 1
④	トポテシン 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 500mL	点滴	90分	day 1
⑤	生理食塩液	50mL	点滴	全開	day 1
1コースの期間  14日（2週間）			投与スケジュール及び総コース数  1投1休で繰り返す PDまで		
その他（特記事項など） ・本レジメンはKRAS wild-typeの症例に対してのみ使用する。 ・ベクティビックス投与時は、インラインフィルターを使用する。					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ベクティビックス単剤	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法（進行） <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ベクティビックス 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴	60分	day 1
②					
③					
④					
⑤					
1コースの期間  14日間（2週）			投与スケジュール及び総コース数  2週間を1コースとして PDまで繰り返す		
その他（特記事項など） ・ベクティビックス投与時は、0.2μmのインラインフィルターを使用する					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名	対象がん種	適応分類
ベバシズマブ+mFOLFOX6	結腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デカドロン注6.6mg アロキシ注0.75mg 生理食塩液	1V 1V 100mL	点滴	30分	day1
②	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	点滴	初回90分 2回目60分 3回目30分	day1
③	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴	120分	day1
④	エルプラット 5%ブドウ糖	85mg/m <sup>2</sup> 250mL	③の側管 から点滴	③と同時に開 始し120分で	day1
⑤	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50mL	点滴	15分以内 (全開)	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 230mL	インフュー ザーポンプ	46時間	day1~3
1コースの期間  14日間(2週間)			投与スケジュール及び総コース数  PDまで継続		

その他(特記事項など)

・インフューザーポンプは5mL/hで投与する。

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+FOLFIRI	治癒切除不能な 進行・再発の結 腸・直腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	デキサト注6.6mg ホラムシ注5mg アキシパグ	1V 1A 50ml	点滴	30分	day1
②	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	100ml	点滴	60分 (観察期 間)	day1
④	レホリナート 生理食塩液	200mg/m <sup>2</sup> 250ml	点滴	120分	day1
⑤	カンプト 生理食塩液	150mg/m <sup>2</sup> 250ml	⑤の側 管から 点滴	⑤と同時に 開始し90分 で	day1
⑥	5-FU 生理食塩液	400mg/m <sup>2</sup> 50ml	点滴	15分以内 (全開で)	day1
⑦	5-FU 生理食塩液	2400mg/m <sup>2</sup> total 92ml	インフー ザーポン プ	46時間	day1~3
1コースの期間  2週(14日)			投与スケジュール及び総コース数  PD又は容認しがたい毒性が発現するまで継続		
その他(特記事項など) ・最初の1サイクルIR観察期間 ・2サイクル以降IR観察期間省略可 ・2ndライン以降での処方					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+イリノテカン併用療法	根治切除不能な 進行・再発胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサート注6.6mg ガスター注20mg ポララミン注5mg 生理食塩水	1瓶 1A 1A 50ml	点滴	全開	day 1
②	グラニセトロンバッグ3mg	1袋	点滴	30分	day 1
③	ラムシルマブ 生理食塩水	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day 1
④	生理食塩水	100ml	点滴	60分 (観察期間)	day 1
⑤	イリノテカン 生理食塩水	150mg/m <sup>2</sup> 500ml	点滴	90分	day 1
⑥	生理食塩水	50ml	点滴	フラッシュ	day 1
1コースの期間 14日間(2週)			投与スケジュール及び総コース数 2週間を1クールとして繰り返す PDまで継続		
根治切除不能な進行・再発の胃癌 2次治療 ④は、2回目以降観察期間省略可					

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+パクリタキセル療法	治癒切除不能な 進行・再発の胃 癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	デキサト注 ガスター注20mg ホラミン注5mg 生理食塩液	6.6ml 1A 1A 50ml	点滴	全開	day1, 8, 15
②	グラネトロンパック 3mg	1袋	点滴	30分	day1, 8, 15
③	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day1, 15
④	生理食塩液	100ml	点滴	60分 (観察期 間)	day1, 15
⑤	パクリタキセル 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> 250ml	点滴	60分	day1, 8, 15
⑥	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day1, 8, 15
1コースの期間  4週(28日)			投与スケジュール及び総コース数 サイラムザは2週間に1回(day1, 15)、パクリタキセルは 毎週(day1, 8, 15)4週を1クールとして繰り返 す PD又は容認しがたい毒性が発現するまで継続		
その他(特記事項など) ・サイラムザ初回投与時、IR観察期間 ・サイラムザ2回目以降IR観察期間省略可					



(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ+ロンサーフ併用療法	治癒切除不能な 進行・再発胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生理食塩水 ポララミン注	250ml 5mg	点滴	全開	day 1,15
②	生理食塩水 ラムシルマブ	250ml 8mg/kg	点滴	60分	day 1,15
③	生理食塩水	100ml	点滴	60分 (観察期間)	day 1,15
	ロンサーフ	35mg/m <sup>2</sup> /回 1日2回	経口		day1-5,8-12
1コースの期間  28日間(4週)			投与スケジュール及び総コース数  4週間を1クールとして繰り返す PDまで継続		
根治切除不能な進行・再発の胃癌 2次治療以降 ③は、2回目以降省略可					

(別紙2)

## がん薬物療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	適応分類
ラムシルマブ療法	胃がん 肝細胞癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発癌 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法(進行) <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> その他

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ホ®ラミン注5mg 生理食塩液	1A 50ml	点滴	全開	day1
②	サイラムザ 生理食塩液	8mg/kg 250ml	点滴	60分	day1
③	生理食塩液	50ml	点滴	フラッシュ	day1
④					
⑤					
⑥					
1コースの期間  2週(14日)			投与スケジュール及び総コース数  2週間に1回投与 PDまで		
その他(特記事項など) ・初回、2回目投与時までは、サイラムザ終了後1時間経過観察を行う。 ・サイラムザ投与時インラインフィルター使用 ・投与開始時、AFP400以上					